会議録【全文筆記】

会議名称	第7回（令和7年度第2回）米沢市総合計画審議会	
開催日時	令和7年5月22日（木） 午前10時00分～午前12時00分	
開催場所	委員会室	
出席者	（委員等氏名）	（所属団体等）
	会長 野々村美宗	山形大学工学部 副学部長
	会長代理 田中明子	米沢商工会議所 理事・事務局長
	委員 伊藤優子	株式会社ニューメディア 取締役米沢センター長
	委員 大和田浩子	山形県立米沢栄養大学健康栄養学部 学部長
	委員 加藤公一	米沢市芸術文化協会 副会長
	委員 川野敬太郎	米沢青年会議所 理事長
	委員 川村麻耶	団体職員
	委員 栗原裕俊	米沢市内高等学校校長会 会長
	委員 小関洋子	米沢市青少年育成市民会議 副会長
	委員 小山克成	米沢市小中学校校長会
	委員 須貝容子	米沢市保育会 前副会長
	委員 清野雅好	米沢市社会福祉協議会 地域支援課長
	委員 平山博志	山形県自主防災アドバイザー
	委員 松田智博	米沢市商店街連盟 理事長
	委員 我妻康次	米沢市コミュニティセンター館長会 前会長
欠席者	委員 岩崎令子	米沢観光コンベンション協会 副会長
	委員 斎藤美綺	株式会社 nitorito 取締役 デザイナー
	委員 佐々木隆行	JA 山形おきたま米沢地区青年部 前委員長
	委員 島倉邦広	米沢市電子機器機械工業振興協議会 会長
	委員 土田良雄	米沢市スポーツ協会 会長
事務局	市長、副市長、総務部長、企画調整部長、市民環境部長、健康福祉部長、産業部長、建設部長、会計管理者、上下水道部長、市立病院事務局長、教育管理部長、教育指導部長、議会事務局長、政策企画課長、政策企画課長補佐兼総合計画策定室長、政策企画課上席専門官、政策企画課企画調整主査、政策企画課主任、政策企画課主事	
会議次第	1 開会 2 会長あいさつ 3 市長あいさつ 4 議事 (1) 前期基本計画（案）について（基本目標4～基本目標5） (2) 前期基本計画（案）について（前期重点プロジェクト） 5 閉会	
会議資料	(1) 次第 (2) 名簿 (3) (仮称) 米沢市総合計画（案）前期基本計画……………資料1	
会議内容		
【1 開会】 省略		
【2 会長あいさつ】 皆さん、おはようございます。お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。本		

年度2回目の審議会でございます。前回と今回の御意見に基づき、7月にパブリック・コメント案が出されると伺っております。委員の皆様には前回同様、活発な議論をいただければと思います。よろしくお願いいたします。

【3 市長あいさつ】

皆様、おはようございます。本日はお忙しいところ市役所まで御足労いただきありがとうございます。通算で7回目の審議会となります。前は前半部分を御議論いただきましたが、今回は後半です。「自由の気風は唯多事争論の間に在て存するものと知る可し」という言葉がありますが、多事争論で御議論いただければと思います。本日はよろしくお願いいたします。

【4 議事】

(1) 前期基本計画（案）について（基本目標4～基本目標5）

（資料1に基づき説明）

委員 施策4-1の健康・保健について、目指す姿として「減塩の推進」が書かれており、施策の柱として「保健・栄養指導や適塩教室等により、適切な食塩摂取について周知啓発を行い、減塩を推進します。」とあります。減塩はこれまで力を入れてきていると思いますが、減塩だけの対策では限界があると感じています。減塩に加えて、カリウム摂取の推進を加えたアプローチも必要だと思います。成果指標でカリウム摂取量があれば効果的かと思えます。

事務局 減塩だけでは健康状態を測れないことは承知しているところです。国の健康増進計画で定めている数値などを基に市の目標を定めているところもありますので、国の計画で定められていれば市として取り組みやすいということもあります。医師会からも御意見をいただきながら検討を進めたいと思えます。

委員 15 ページに「自殺予防の推進」とありますが、自殺の項目を入れると自殺が多いというイメージになりますので、「こころの健康の推進」というような名目を検討いただきたいです。自殺予防はその下の取組に記載すれば良いと思えます。

事務局 御指摘いただいた修正を検討させていただきます。

委員 14・16 ページの事業者・団体等に期待したい行動ですが、14 ページと16 ページを逆にするか、16 ページに「地域の健康づくりの推進」という文言を追加するとしっくりくると思えます。また、17 ページの「市立病院の体制・機能の充実」について、「24 時間 365 日受け入れし」を「24 時間 365 日の受入体制を整備し」に修正してはどうでしょうか。質問なのですが、19 ページの「地域福祉の担い手の育成」にある「児童生徒を含めた幅広い世代の活動・参加の機会」、21 ページの「自立支援の推進」にある「居場所の設置」について、イメージがつかないので教えてください。

事務局 16・17 ページは文言を修正したいと思います。

事務局 19 ページについては、事例をこの場で全てお示しするのは難しいのですが、例えば、社会、保健体育、家庭科や総合的な時間において、社会福祉課、社会福祉協議会と連携して体験活動をした事例があります。それらを今後どのように広げていけるか協議していきたいと思えます。

事務局 21 ページの「ひきこもり支援を行うための居場所の設置」については、現在、民間団体に委託し事業を行っております。支援としては相談支援に加

え、ひきこもりの方が集まれる場も重要な事業となっています。このような場を少しでも多くしたいということで書かせていただきました。

委員

16 ページの成果指標について、紹介率・逆紹介率とありますが、これはどのような基準なのでしょう。基準値と目標値で差がないようにも思われますが、既に理想に近い状況でしょうか。

事務局

紹介率はまちのお医者さんから市立病院に紹介いただく割合、逆紹介率は市立病院からまちのお医者さんへ患者さんをお返しする割合です。数値には初診患者のみといった様々な条件がついているため、100%を超えることもあります。紹介率・逆紹介率は地域医療支援病院の認定を受ける基準にもなっていて、市立病院はこれを十分クリアしているので、基準値と目標値の差がない状態ですが、これ以上の数字は難しいと考えています。

会長

定義について、加筆いただければと思います。

委員

14・15 ページについて、企業側に求めるものも大きくなると考えています。ここ4～5年で、様々な企業が健康経営優良法人の認定を受けるための取組を進めています。採用だけでなく、既存社員の健康をはじめ、人材確保や事業継続につながるもので、企業側のウエイトも大きいと思いますが、企業へのメッセージが弱いと思います。健康経営優良法人数を成果指標に求めるわけではないですが、健康経営への後押しや情報提供といった企業に向けた文言が必要ではないでしょうか。自社でも減塩適塩教室にお声がけいただき取り組みましたが、案内をいただくまで知らなかったため、企業に対してのメッセージがあれば健康経営の機運が高まると考えています。

事務局

健康経営について、文言を検討させていただきます。

委員

22 ページの成果指標の通いの場の設置数は、具体的な数字となっていますが何か意味はあるのでしょうか。また、主な取組としても記載がありますが、通いの場までの距離があたりるので、気軽に通えるような交通手段の確保も必要なことから検討をお願いします。

事務局

通いの場の実施主体は社会福祉協議会になっており、現在40カ所あり年々増えています。認知症対策には社会とのつながりが重要であることから、まずは元気に歩いて来ていただける場所にあることが必要なので、箇所数を増やしていきたいと考えています。移動手段の話をしていただきましたが、デマンドタクシーなども普及していますので、利用しやすいよう交通手段の周知を含めて考えていきたいと思っています。

委員

自殺者数の昨年度の実数は分かりますか。18歳未満や大人の数字がありますか。

事務局

自殺者数について、広い範囲での公表はされていると思いますが、自治体単位の小さい範囲だとある程度特定されてしまうので、米沢市の数値は持ち合わせていません。自殺対策推進計画を策定しており、社会全体で考えていく必要があると考え、自殺防止を柱に掲げましたが、インパクトが強すぎるのではという御意見がありましたので、「こころの健康」という文言に修正いたします。SOSを出せないお子さんがおり、そのことの周知も必要なことから自殺対策は推進していきたいと思っています。

委員

仕事柄、実数は分かりませんが大人が多いと思います。ただ、報道でお子さんが自殺をしているとなると、学校教育なども絡んでいくべきだと思いますので検討をお願いします。

委員

19 ページの「地域福祉の推進」について、地域防災を含めて町内会の役割が非常に大きなものではないかと考えています。民生委員・児童委員、地域

団体などいろいろな団体が書かれていますが、町内会は地域団体の中に入っているのでしょうか。町内会の役割が果たせていない現状なので、町内会を入れて支援や情報発信いただきたいです。

事務局

地域団体の中に町内会を含めて考えていましたが、御意見がありましたので、町内会という文言を出して役割を示していきたいと思います。

委員

32 ページの成果指標のふるさと納税申込件数について、令和 12 年度の目標が 60,000 件と増えていますが、33 ページの「市民交流の推進」にふるさと納税の文言があるだけで、件数を伸ばす具体的な取組が書かれていません。逆に、37 ページの「ふるさと納税の推進」として、財源確保の観点で触れられていますので、整理して具体的な取組などを入れていただきたいと思います。

事務局

32 ページのふるさと納税申込件数は、米沢のファンを増やして交流人口、関係人口を増やしたいと考えています。33 ページに具体的な施策が入っていないとのことでしたので、記載できるよう調整したいと思います。37 ページは財源確保のために記載しましたが、32 ページと整合がとれるよう文言等を検討させていただきます。

委員

ふるさと納税について、令和 6 年度が 15 億円で数年前より増えていますが、48,000 件の内のリピーター率と、他自治体ではお米の受付ができない状態になっているので、米沢市の状況を教えていただきたいです。

事務局

リピーター率は 10～20%ですが、特に米沢牛は毎年申し込んでいただいている方がいますので、ここを上げることが重要と考えております。お米は昨年 8、9 月に在庫がなく、受付を停止したために寄附額が伸びなかった反省を踏まえ、今年度から JA 山形おきたまからも米を提供いただき、4～5 月の寄附額が増えています。県内では 6 年度産米がなくなっていますが、米沢市では JA の協力があって、6 年度産米も返礼品として扱っています。昨年の反省を踏まえ、米農家や農業法人と連携して、米を切らさないように進めているところです。

委員

32 ページの成果指標のお試し暮らし体験事業の参加者数の基準値が 25 人になっていますが、目標値も 25 人となっており、良いのでしょうか。

事務局

この 25 人という数値は令和 6 年度が過去最高の数値となっているので、維持するということで目標にさせていただいています。その効果として、体験事業をしていただき、移住につながったかについては、数字の取り方が難しいため、確認させていただきます。

委員

36 ページの行政経営について、成果指標に経常収支比率がありますが、70～80%が望ましいと一般的に言われている中で、米沢市は数値が高いです。さらに、目標値は上がっており、財政の柔軟性が低いところが課題として出てくるのではないかと思います。財政健全化比率は健全な数値だとデータで見ているので、その数値も入れることによって、柔軟性を高める余地がある、先行投資ができることを示すことができるのではないかと思いますので、検討をお願いします。

事務局

経常収支比率は 70～80%が行政経営としては柔軟な状況だとなっています。近年、米沢市では 90%前後を推移しており、下がってはきたものの記載している数値となっています。今後、本庁舎をはじめ、様々な建設事業の返済があるので、令和 13 年度までは単年度収支での赤字が続く現実があります。健全化比率など実際の米沢市の財政を表現できる数値を記載できるよう検討したいと思います。

会長	財政に関する指標を入れていただいていることは良いことだと思いますが、行政でのサービスや成果に関する指標も入れていただきたいと思います。
事務局 会長	何を取り上げるかは難しいと思いますが、検討させていただきます。 市民の満足度や幸せがあって、今回の計画が達成されたことになるので、お願いしたいと思います。
委員	29 ページの「地域コミュニティの活性化」について、「町内会等の自治組織の維持及び活性化」とあります。現状、人口減少やコロナによって、地域コミュニティが衰退していると感じています。町内会に入らなくても良いという世帯が増えているという話を聞きます。さらに、高齢化が高まってきて、町内会費すら払うことも難しくなっているところもあります。その辺りのことを含めて検討いただきたいと思います。コミュニティセンターが重要な拠点だと思いますが、小さな拠点とはどのようなものを考えているか聞かせていただきたいです。
事務局	小さな拠点ですが、前段の「地域住民自ら集まって話し合い、地域の課題解決に取り組む活動を推進する」ことが重要だと思っており、まずは地域住民が主体となって話し合い、課題を探していくという活動を推進し、地域の生活・暮らしを守るための地域運営拠点をつくっていくことを促していきたいと思います。小さな拠点はサービス機能の提供まで主体的にする組織を想定しており、段階的にやっていく必要があると考えています。町内会をはじめとする自治組織の維持については、前回、御指摘をいただきましたので、地域住民が自ら集まって話し合う場をつくることを促すことをもって、貢献していきたいと思っています。
委員	社会福祉協議会でも様々な住民の話し合いの場をつくらせていただいているのですが、コミュニティセンターの館長の話を書き聞きますと、地域住民の方にコミュニティセンターまで来る交通手段がないと言われていました。比較的集まりやすい町内の公民館や市営住宅の集会所などもあると思いますので、その辺りの活用も進めさせていただきたいと思います。
事務局	アクセスについては、空白地をつくらない地域交通の強化を進めていますので、それを含めて地域づくりを進めていきたいと思っています。
委員	31 ページの「多文化共生の推進」について、「日本語教室等を通じて、外国人が暮らしやすいまちづくり」とありますが、日本語教室は現在あるのでしょうか。
事務局	米沢市には国際交流協会というところがあり、そちらと連携をして日本語教室の開催支援や交流イベントを通じて外国の方と交流を行っております。
委員	今後、外国人はかなり入ってくると思いますが、日本語が話せなかったり、日本文化に慣れ親しんでいないなどが背景にあって犯罪を起こす傾向があります。米沢市で外国人を受け入れるのであれば、しっかりとサポートしていかないと難しいのではないかと思います。
事務局	現状、犯罪に関することまでは入ってはいないのですが、御意見を踏まえて検討していきたいと思っています。
委員	34 ページの DX のタイトルについて、DX と書くのではなく、きちんとした言葉を入れないと小文字の dx には別の意味もありますので、明記したほうが良いと思います。
事務局 会長	DX は略語になるので、しっかり記載したいと思います。 施策のタイトルで気になっているのが、施策 5-2 の多文化共生・男女共

同参画で、最近では男女共同参画をさらに広げてダイバーシティのような概念で書かれることが多くなっています。ただ、男女という言葉を入れておくことが大事であるという考え方もありますので、どのようなタイトルが良いか検討いただければと思います。

委員

31 ページの「男女共同参画と女性活躍の推進」について、「企業等における多様な働き方、ワーク・ライフ・バランスを促進する」とありますので、14・15 ページに「健康・保健に関する企業への支援」という文言を入れていただくことはできると思っています。DX について、今後5年間を見据えた前期基本計画としては内容が薄すぎると思います。デジタルを通じた活動は様々な分野に入っているのですが、市としてどのような分野に活用していくか、農業、建設業、観光など具体的なところを入れないと市民の方々にDXが浸透しないと思います。今、取り組んでいる企業にも方向性を示す必要があると思います。

事務局

先ほどの意見と合わせて、健康・保健の部分で企業への支援といった内容を加えさせていただきたいと思っています。DX は具体的にどのような方向性で取り組むか検討し、盛り込みたいと思います。

委員

男女共同参画の成果指標で、審議会・委員会の女性登用率の目標値が40%となっていますが、もう少し高くても良いのではないのでしょうか。DX のところで、成果指標の満足度はどのような基準で算出したのですか。

事務局

男女共同参画の目標値は市の計画で定めているもので、様々な分野があり全ての分野で40%を達成するのは難しいと考えていますので、40%ということで書かせていただいています。DX の満足度は国のウェルビーイング指標を基に行政のサービスのデジタル化に関する満足度を示しています。現在、5.0点満点中2.7という数値になっているので、3.0まで上げたいという目標になっています。

委員

登用率はいろいろな審議会や委員会の平均値だと思っていますので、分野によって多い少ないがあるのは分かりますが、目標は高いほうが良いと思いますので検討いただければと思います。デジタル化ですが、お年寄りにはガラケーを使っている方が多いので、市役所の窓口で申込みをする際、どのように申請するか案内できるパソコンを配置すれば、窓口職員の負担軽減にもなると思います。地域コミュニティという観点からも、コミュニティセンターに役所に行かなくても良い機能があっても良いのではないかと思います。

事務局

行政DXの進め方について、手続きのデジタル化も道半ばではありますが、それが進んだ暁には、高齢の方を含めた市民の方に広く使っていただけるよう御提案を踏まえて考えていきたいと思っています。

(2) 前期基本計画(案)について(前期重点プロジェクト)

(資料1に基づき説明)

委員

重点プロジェクトはどのような基準で選ぶのでしょうか。

事務局

掲げている3つの柱である「ひと」「なりわい」「くらし」に沿った形で、今後進めていくべきものを決めさせていただきました。

委員

この取組を選ぶ段階ではどのような基準や視点で選ばれたのでしょうか。

事務局

必要な項目を事務局で選定させていただき、整理させていただきました。

委員

達成可能なものや後期までかかりそうなもの、雪や医療など命に関わる緊急度が高いものが混在しているように思いました。それぞれのプロジェクトで達成困難度や緊急度などを入れることはできますでしょうか。

事務局	達成困難なもの、緊急度が高いものなどが混じっている状況ですが、それらの指標を出せるかは検討が必要となりますので、できる範囲で検討させていただきたいと思います。
委員	市民の方になぜこれが重点プロジェクトなのかを説明するにあたって、根拠になるものを準備いただければと思います。
会長	私も選択の根拠は説明をいただきましたところです。ウェルビーイングを最終目的として、全ての項目が大事ですが、その中で重点プロジェクトを選ぶことはウェルビーイングの社会をつくる上で影響度が大きい、多くの市民に関係がある、命に関わるなどの理由付けが必要だと思います。書けること、書けないことはあると思いますが、審議会では共有できればと思います。
委員	3ページの「教育環境の整備と学校教育の推進」となっていますが、「学校給食の推進」ではないでしょうか。その上で、将来を担う人材育成のために教育は非常に大事になると思います。例えば、GIGA スクールということで、ほとんどのクラスで端末を使っていますが、使いきれていないので、「教育用端末のより効果的な活用の推進」などの項目を加えていただけないでしょうか。
事務局	給食の誤りですので、修正させていただきます。GIGA スクールや端末の活用も学校教育で大事なところだと思いますので、加えられるか検討させていただきます。
委員	前期重点プロジェクトは基本目標1～5を3つの視点から確認したいということで立てましたか。それとも、施策に共通した事項として3つのプロジェクトを作ったのですか。
事務局	基本計画には5つの基本目標があり、取り組んでいくこととなりますが、将来人口や地域幸福度に資する事業を分野横断的に集約したものが重点プロジェクトになります。
委員	3ページに「若い世代の希望を叶える」とありますが、若い世代に偏りすぎている気がします。全世代に向けることが非常に大事だと思います。4ページに「新たな産業団地の整備に向けた取組」とありますが、どのような企業を誘致し、どのような効果を期待するものなのかが大切なので、その辺りの言葉を入れたほうが良いのではないのでしょうか。
事務局	1点目について、以前にも御意見がありました。改めて検討させていただきます。2点目について、どのような産業団地を造りたいのかなど文言の追加を検討させていただきます。
委員	前期重点プロジェクトを読み込んでいくと、順番や施策の内容、関係性など様々な疑問点が出てくると思います。先ほどから意見が出ている優先度や困難度、緊急度などが分かるように作らないと、どういように取り組んでいくか分かりづらいです。SDGsのように有機的につながっている施策などもあるので、それが分かるようグランドデザインのような見せ方があったほうが多くの方に共感いただける重点プロジェクトになると思います。6ページに「安全な地域づくり」や「インフラ整備とまちのにぎわいづくり」が記載されていますが、災害と社会インフラの整備は日本全国の課題となっています。社会インフラを維持できない状態となっているので、技術者の数自体も社会インフラの一部であると考え、取り組んでいかないといけないと思います。そういった技術者、ひとの健康なども含め、有機的につながっていますので、つながりが分かる見せ方が必要だと思います。

事務局	ひとを含めたインフラ整備が重要とのことでしたので、文言の追加を検討させていただきます。見せ方の部分はどのような形で掲載できるか、検討させていただきます。
委員	見える化して優先順位をつければ良い話ではないと思います。前の会議でSDGsの横軸・縦軸の話をして、分かりやすい形になったと思います。2ページについて、米沢が他のまちにないものとして、「なせば成る」の文言が入ると米沢らしくてワクワクしますので、そのような独自の表現があっても良いと思います。4ページに国内外とあり、「外」が入っていますが、「外」をターゲットにするということはどのようなことですか。「伊達家や上杉家ゆかりの文化を活かした観光振興」とありますが、外国人には難しすぎます。2月に外国の高校生を案内しましたが、理解してもらえませんでした。米沢市のファンを作るのであれば、米沢市の魅力につながるような体験ができるものが良いと思います。日本人が見る目と外国人が見る目が違うので、思っていないことがSNS上に流されて、多くの外国の方が来る現象が起こっています。伊達家や上杉家に縛らないほうが良いと思います。それから6ページで「自然と共生する雪・災害に強い安全な地域づくり」となっていますが、「自然と共生する雪・災害」に見えてしますので、「雪・災害に強く自然と共生する強い安全な」にしたほうが分かりやすいと思います。
事務局	1点目の「なせば成る」を入れることについては、どこに入れられるかを含め検討させていただきます。2点目の外国人については、インバウンドということがあるので、国内だけではなく、国外への情報発信が必要だと考えています。外国人と我々とは視点が違う部分があるので、体験を含めて入れられないか検討していきます。3点目の文言については、入れ替えたほうが分かりやすいので、修正させていただきます。
委員	6ページに「全ての人に安心を届ける医療・福祉環境づくり」とありますが、障がい者に対しては後手後手になることが多く、障がいのある方がこの重点プロジェクトを見た時に障がい福祉がないことにどう思うかということがあるので、障がい福祉の文言を入れるのか、地域福祉にまとめるのかについて、検討いただきたいです。
事務局	障がいに対する施策が入っていなかったもので、含められるか検討させていただきます。
委員	6ページに「防災機能の高い」という文言があるのに、主な取組に「防災力の強化」が抜けています。町内会では様々な問題を抱えており、防災に対しても温度差があるので、「防災力の強化」を入れることで、地域防災の推進を行政が本気で後押しをしていくという姿勢を示すことができます。
事務局	「防災力の強化」はここに関係するものですので、触れられるか検討させていただきます。
委員	他の項目でも抜けているものがないでしょうか。
事務局	他の項目も確認させていただき、お示しさせていただきます。
委員	3ページのところで、私も学校教育を入れていただきたいです。今のことではなく、子どもたちが将来、米沢市をどう支えるかという視点に立たないといけないと思います。子どもたちが米沢に残るのか不安の中、教育をしています。どんなにまちが良いところだと教えても、出ていっており、戻ってきていません。それは魅力がないからであり、その魅力をどのように見つけ出し発信して、若者たちに伝えていくことが非常に大事なポイントだと思います。大人が本気だとそれを見て子どもも本気になりますが、大人が本気で

ないとこどもは本気になりません。鷹山公の米沢だと思imasるので、ピンチをチャンスに変えられるよう市民を巻き込み、「米沢魂」を感じられ、米沢は良いところだと発信し、その発信によりどのように影響が出たかが今後の米沢にとって大きなことだと思imasます。シティプロモーションに興味をあって調べてみると「どこにもない」、「画期的」、「ユニーク」などの視点が必要だと思imasましたので、計画にも盛り込んでいただきたいと思imasます。

会長

計画全体の思想のようなところだと思imasますが、市民を巻き込むなどは非常に大事なキーワードですので、計画に今の考え方を組み込んでいただければと思imasます。

事務局

全体的なところにつながってきますので、どこに散りばめるか見直しを図りながら検討させていただきます。

【5 閉会】

省略